

平成25年度第11回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成26年2月21日（金） 午前10時

場 所 教育委員会 第一会議室

< 議 事 >

議第32号 平成25年度天童市教育委員会小中学校優秀児童・生徒の褒賞について

平成25年度の小中学校優秀児童生徒について、各学校長から内申をいただいたものです。小学校個人22人、団体6団体、合計28個人、団体、延べ人数44人、中学校個人12人、団体6団体、合計18個人、団体、延べ人数55人、小中学校合計、46個人、団体、延べ人数99人となったものです。全員褒章要綱、細部基準に該当するとし、褒賞するものです。

< 可決する >

委 員:年によって褒賞者数の変動はあるのか。

事務局:団体褒賞が多くなると褒賞人数も多くなる。今回も昨年度に比べると、団体褒賞が多い関係で褒賞者数も約1.5倍になっています。

委 員:今回の褒賞者の中から2020年の東京オリンピックで活躍する選手がぜひ出てほしいと思う。

議第33号 平成25年度教育委員会所管3月補正予算（第4号）について

主な内容としては、事業の精査による額の確定と、燃料単価の増加に伴う小学校施設等の燃料費の増額補正、新成人を祝う会の会場を文化会館に変更したことによるホテル使用料の減額、市立寺津公民館建設について国の補助金を適用させるための事業の前倒しを行うための補正などです。

< 可決する >

委 員:今年の新成人を祝う会は整然として、感動的な立派な式であったと思う。平成26年度は文化会館が工事で使用できない予定だが、どう考えているのか。

事務局:平成26年度は市民文化会館が耐震化工事で使用できない予定になっています。市スポーツセンターのメインアリーナを現在、予約しており、シートを敷いて足りない椅子の借り上げ料を予算化しながら開催を予定しています。

議第34号 平成26年度教育委員会所管予算について

平成26年度教育委員会所管予算額は、約18億9,700万円で平成25年度と比較し、1億2,500万円、6.2%の減となりました。減額の主な理由は、第一中の改築工事等が終了したことによるものです。

＜可決する＞

委員：今年度の私立高等学校生徒学費補助金、奨学金貸付事業の交付者は何人か。

事務局：今年度の私立高等学校生徒学費補助金は要件に該当する16名に交付しました。また、奨学金の新規貸付者はありませんでした。これは、国の公立高校授業料無償化など給付型の支援が多くなっており、償還が要件の奨学金については、申請者が減少したものとみています。なお、現在返済中の方は21名です。

委員：グラウンド整備事業について、側溝などの放射能検査の状況は。

事務局：側溝などの泥上げはこれまで町内会等で実施したものを市で回収していたが、震災による放射性物質が問題になってからは原則として回収していません。現在のところ、回収しても保管先が示されていない状況になっているため、当面、やむを得ないことと考えています。

委員：小学校空調設備改修事業について、本市の学校施設の整備についてはかなり充実していると日頃から感じているが、今回の空調設備は他の市町村との比較においてはどのような位置づけか。

事務局：校舎内でも、保健室や職員室などの特定の教室への空調設備は他の市町村でも行っているが、普通教室全体への設備は県内初になります。空調設備全体の総予算では約9億円となり、3年間の年次計画で整備を行う予定です。

委員：学校生活では、子どもそれぞれに個性があって教職員がすべてに対応するのは無理ではあるが、今回の一中の事故なども受けてさらにきめ細かな対応によるクラス運営をお願いしたい。

事務局：少子化の影響もあり、子どもそれぞれへの対応も大変になってきています。子どもが置かれている環境も様々ということで、各学校とも連携を取りながら進めていきます。

委員：幼稚園と学校との話し合いの場はあるのか。

事務局：幼稚園からの文書での引継ぎだけでなく、実際に幼稚園に出向いて話を聞いたり、小学校に入学後に幼稚園の先生から見に来ていただいたりといった交流や研修会を実施しています。来年度は子育て支援課とも連携し、幼稚園等への巡回相談による情報交換も予定しています。

委員：子どもも人間ですから教職員との相性もあると思うので、特定の先生だけとの関係ではなく、教員全員で情報を共有して子どもを複数の目で観察していく必要があるのではないか。

事務局：大変重要なことと感じています。今後も複数の目で子どもを観察し、重要な子どもからのサインを見逃すことなどないように、取り組んでいきたいと思います。

委員：今回の一中の事故を受けての方針も反映されており、大変良いことと思う。めざす学校の取り組みにおいて地域との連携についても取り上げる必要があるのではないか。

事務局：さらに検討していきたいと思います。

委員：すこやかスクールプランについて。

事務局：これまで特別支援学級の支援の名称であったすこやかスクールプロジェクトが定着しているため、新規の事業名にも同じ名称を使おうとしたものです。

委員:ちえふるの利用者は。

事務局:平均で一日当たり約20人。テスト期間中になると40～50人。時間帯別では、17時位から利用者が増えだして20時くらいまでが多くの方から利用いただいている。利用形態としては、家族が帰宅するまでの時間を利用したり、サラリーマンが仕事のために利用することもあるようです。

また、夏休みなどは大学生や教員OBからご協力をいただいて相談会なども行っていただいています。

他の利用者への迷惑行為などもなく、皆さん熱心にそれぞれの目的に沿って利用いただいています。

委員:衛生管理の徹底について、今後民間委託をするに当たり、その対応は。

事務局:衛生管理に関する民間業者の対応は、大変専門的で徹底しており、厳しく対応いただくよう連携を図ってまいります。

議第35号 天童市学校給食センター設置条例の一部改正について

山形県村山特別支援学校天童校（仮称）の開校に伴い、学校給食の提供を行うため、対象施設に関する規定の整理を行うものです。なお、校名については、3月に正式に県で決定することから現在は仮称となっているものです。

<可決する>

質疑等なし。